

栗本鋤雲 いくりもと 舊幕臣、新聞記者。文政五年二月十日江戸生れ。明治二十年二月六日歿（八二一九七）。舊姓喜多村、諱鏡、字化鵬、通稱喜多村哲二、栗本瀨共衛、栗本瑞見（六世）。別號匏菴、匏菴懶農、匏菴逸良、匏菴陳人、鋤雲老人等。幕醫喜多村槐園の三男。昌平坂學問所に入り、傍ら醫を學ぶ。慶應二年外國奉行兼森鴎館奉行となり、フランスへ赴いて親善外交に當る。明治六年「郵便報知新聞」主筆。著書「匏菴十種」鉛筆紀聞（明治二年八月官許・九潛館藏版）、「匏菴十種」曉窓追録（明治二年八月官許・九潛館藏版）、齋藤竹堂著「讀史叢議逸編」（枝、明治四年仲冬跋・青山堂）、王範著「扶桑遊記」全二冊（訓點、明治十三年九月・十九日報知社書店發兌）、エルクマン、チャートリアン作、天香外史譯・河津祐之、天香外史編次・可概世、學海居士評點・史談斷蓬奇、緣「全四冊（評語、明治二十年六月鳳文館）、「匏菴十種」（岡敬孝校、明治二十五年二月二十一日齋藤清之丞刊、報知社）、「匏菴遺稿」（栗本秀）「郎編、明治二十二年五月十五日粟垂書房）等。

